

WORK IN ETHICAL FASHION



衣服のサステナブル経営

Everyday sustainable fashion

2020 - 01 - 27 MF4355 そーご

衣服のサステナブル経営

- 1,衣類の廃棄問題
- 2,現在のアパレル業界
- 3,繊維の労働環境
- 4,日本におけるアパレル産業
- 5,世界から見た日本の衣類需要
- 6,他の業界への流用性
- 7,まとめ

1,衣類の廃棄問題

CLOTHING WASTE PROBLEM

購入されない衣服はどこで使われ、どの様な処理をされているのか。

実際にはほとんどがごみとして処分されています。衣服がどれほどの環境に影響を与えるか想像がつかない。

ファッション業界の抱えている廃棄問題について考える必要がある。



Did you
know?

1.1 ファッション業界のCO₂排出量

2015年比で**60%以上**増加し、

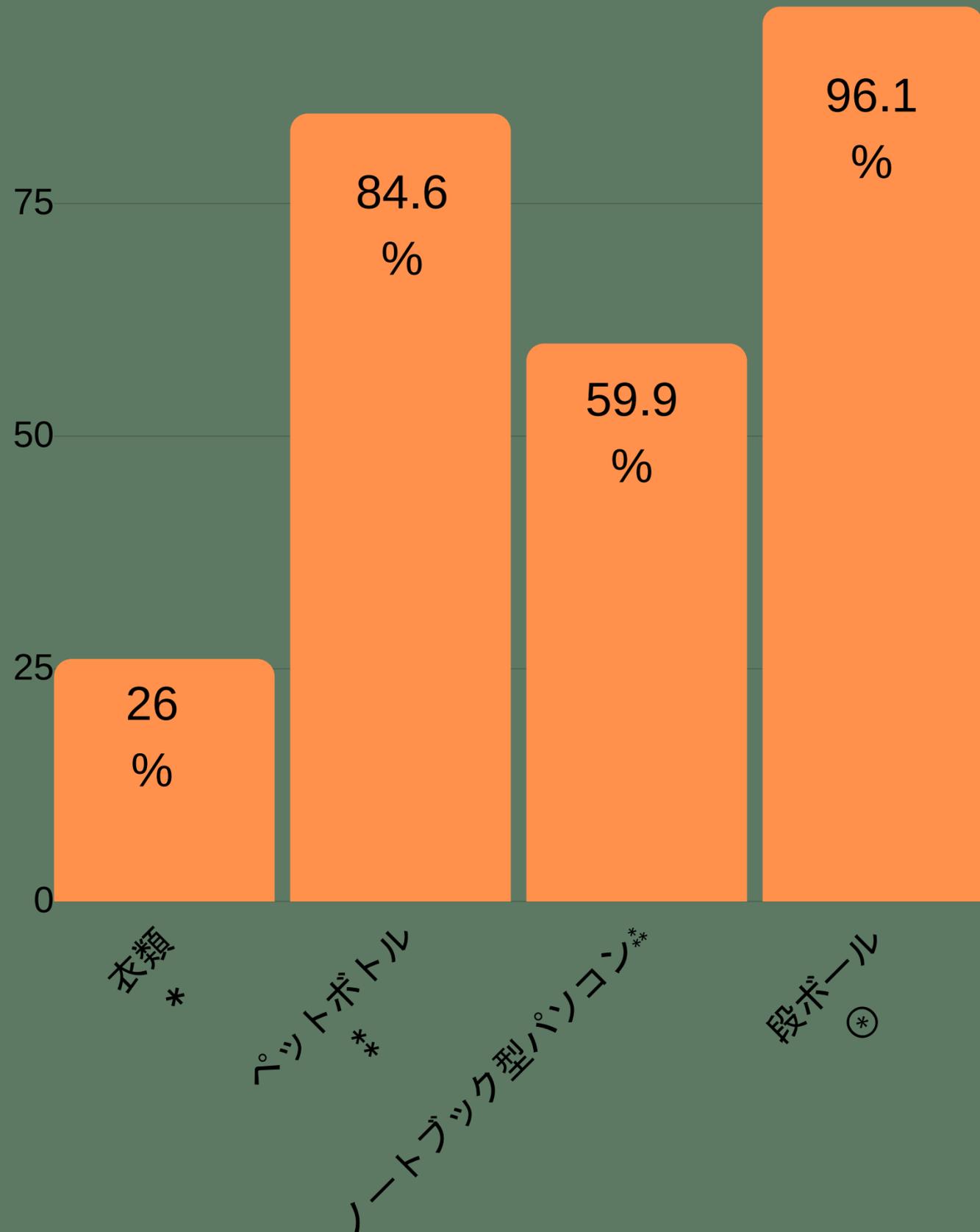
2030年には**約20億8千万トン**

になると予測されている*。

一年間に**2億3千万台**の乗用車

から排出されるCO₂の量にほぼ等しい*。

* Global Fashion Agenda and The Boston Consulting Group, Inc. (2017), Pulse of the Fashion Industry



1.2 リサイクル率の低さ

毎年ファッション業界から**9200万トン**の繊維が廃棄されているが、**2030年**にはさらに**5700万トン**増えると予測されている。¹

⁴ さらに日本はリサイクル率が低い。左図参照
残りの**74%**は**焼却**または**埋め立て**られている。

¹ Global Fashion Agenda and The Boston Consulting Group, Inc. (2017), Pulse of the Fashion Industry

* 「繊維製品3R関連調査事業」報告書 平成22年2月 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

* Petボトルリサイクル年次報告書

** 一般社団法人PCR推進協会

Ⓞ 全国段ボール工業組合連合会

2.現在のアパレル業界

使い捨て衣類の文化の形成。

倫理観の欠如。

5



3. 繊維の労働環境



- 児童労働
- 人身売買
- コットンによる健康被害

3.1 繊維の労働環境

日本は衣類の約**95%**を海外からの輸入に頼っている。*

大量の衣類をエネルギーをかけて運び、大半をごみとして捨てている。

*日本繊維輸入組合



4.日本におけるアパレル産業

繊維産業の出荷額は90年代ピーク時の約4分の1まで減少している*。

25年間で工場の数と従業員数は約4分の1にまで減少した*。

* 繊維の将来宣言 令和元年7月繊維の将来を考える会



5. 世界から見た日本の衣服の需要

古着に着目。

日本の古着は世界中の輸出先でその品質が高く評価されており、⁹ そのニーズは年々高まっている。

。

5.1 世界から見た日本の衣服の需要

古着の回収率を上げる。

品質の管理。

加工方法やマーケティングによる海外需要の生産。

6.他の業界への流用性

マスキングテープ

ボールペン

紙

11



7.まとめ

繊維及び衣服だけのサステイナブルを掘り下げてもここまで多くの問題が浮き彫りになる。

我々人類が豊かに育つために多くの犠牲が生まれてしまうことは仕方のないことであり、これからも多くの犠牲を生み出していく。

しかしながら、その犠牲を抑止するアイデアを考え、グローバルな社会のなかで様々な意見を酌み交わし、一人一人が事実に向き合いアイデアやシステムを考え続けることが重要である。

参考文献

提供画像：フリー画像

- 1 Global Fashion Agenda and The Boston Consulting Group, Inc. (2017), Pulse of the Fashion Industry
- 2 繊維の将来宣言 令和元年7月繊維の将来を考える会